

区民公益活動推進基金からの助成申請のポイント

1. 事業計画は具体的に！

「何を（目指す姿）」に向けて「どうやって実現するのか」を明確にする！

「事業の目的は何」で「どういうことを実現したい」のか「具体的にどんなアプローチ」で、「誰のために」やる事業なのかを明確に計画することが事業実施のポイントです。「5W1H（Who:誰が、When:いつ、Where:どこで、Why:なぜ、How:どのように）」を意識して事業実施計画書を作成しましょう。

- ✔ 事業実施計画書は、事業の内容が伝わるように、できるだけ具体的に記入しましょう。
- ✔ 事業の目的や計画内容は、団体の仲間で共有しましょう。

2. 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策にかかる経費も助成対象

申請事業を安心・安全に実施するために、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策にかかる経費については助成金の対象になります。（例：マスク、消毒液等）

- ✔ 受付時に、事業実施における新型コロナウイルス感染症拡大防止対策についてお伺いします。事業を計画する際に感染拡大防止対策についても具体的に計画しましょう。
- ✔ 計画した感染拡大防止対策は、「事業実施計画書」の[4. 事業の内容]の【(6) その他】の欄に記入してください。また、経費は「事業収支計画書」の「消耗品等購入費」の欄に記入してください。

3. 収支計画が合理的か、適切か！？

経費が合理的かつ適切かを意識して収支計画書を作成することが重要です。事業計画書に申請事業の内容が具体的に示されていて、その内容が収支計画書と整合性が取れているか確認してください。

- ✔ 事業が実行可能で、継続性があるかどうか、事業に見合った経費の見積もりがされているか、過大な積算になっていないかを審査します。
- ✔ 支出内容や積算根拠が分かるように収支計画書を作成しましょう。
- ✔ 「事業の内容からその経費が必要と読み取れない」「過大な積算である」と評価された場合は、申請額より減額になることがあります。収支計画書を作成する際は、支出内容や積算根拠を記載しましょう。

※ 申請書類作成の詳細は、申請書類【記入例】を参考にしてください